

公民科（公共）学習指導案

日 時 令和6年2月16日（金）

対 象 第2学年

1 単元名

「労働問題と労働者の権利」 - 本時：労働基本権と労働三権 - （実教出版「公共」、資料集 実教出版「2023 ズームアップ公共資料」）

2 単元の目標

- ・労働者に保障されている諸権利を理解するとともに、これらの権利を行使するにあたりどのような諸課題があるかを考察する。

3 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
(1) 労働者に保障されている諸権利や関連法を理解する。 (2) こんにちの労働問題の概要を把握する。	(1) 労働者に保障されている諸権利の行使に関する諸課題を考察したり、自分の考えを文章で表現したりしている。 (2) こんにちの労働問題の解決策を考察している。	こんにちの労働問題について、各種統計資料や事例問題から考察した内容を自分自身の生活に生かそうとしている。

4 指導観

(1) 単元観

本単元は、以下の「高等学校学習指導要領（平成30年告示）公民 公共」を受けて設定した。

B 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち

ア (ウ) 職業選択、雇用と労働問題、財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、市場経済の機能と限界、金融の働き、経済のグローバル化と相互依存関係の深まり（国際社会における貧困や格差の問題を含む。）などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解すること。

ア (エ) 現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けること。

本単元は労働基本権や労働三法等、労働者に保障されている権利や関連法の理解を通して、こんにちの労働問題に関する諸課題の解決策を考察したり、雇用や労働環境に関して自分の意見を有したりすることが主なねらいである。身近な事例を通したケーススタディや、関連する各種資料の読解を通して、自らの生活や将来と関連させた深い考察を促したい。

(2) 生徒観

対象の学級は男子 11 名、女子 22 名で構成されている。授業には落ち着いて取り組むことができている。また、教員の発問やワークシート等の設問に対しても、自分なりの考えを他者や教員に表現することができており、ペアワークやグループワークの活動では意欲的に取り組んでいる様子がみられる。また年間を通して取り組んでいる諸資料の読解についても、各種資料から内容を読み取ったり、読み取った内容から、学習内容に関する考察をしたりすることができている。

(3) 教材観

本授業では、生徒にとって身近な事柄を題材に、労働者に保障されている諸権利に関する理解、またこんにちの労働問題についての考察を深めたい。そこで比較的身近なプロ野球やアルバイトにおける労働問題の事例や各種資料の読み取りをしながら、労働三権の行使に関する現代社会での諸課題や、労働者の人権をどのように守っていくか、またこんにちの労働問題と自分自身の生活との関わりを考察し、本授業の内容の理解を深めたい。

5 年間指導計画における位置づけ

2 単位科目のため年間 70 時間配当の中、本単元「労働問題と労働者の権利」は 2 時間扱いである。

6 単元の指導計画と評価計画（全 2 時間）

時	目標	○学習内容・学習活動	評価規準（評価方法）		
			ア	イ	ウ
第 1 時	<ul style="list-style-type: none"> 労働者に保障されている権利を理解する。 労働者の権利の行使について自分の考えをもつことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 最低賃金を例に、労働者に保障されている諸権利や関連法を理解する。 身近な事例や各種資料の読み取りを通して、労働者の諸権利の保護や諸課題に関して、自分なりの考えをもつ。 	(1) 定期考査 (2) 定期考査	(1) 定期考査 (2) 定期考査	
第 2 時	<ul style="list-style-type: none"> こんにちの労働問題の概要を理解する。 こんにちの労働問題について、その具体的な内容や自分自身との関わりを考察する。 	<ul style="list-style-type: none"> こんにちの労働問題の事例や各種資料の読み取りを通して、その内容を理解する。 こんにちの労働問題に関する事例や各種資料を読み取り、解決策や対応策を考えたり、他者との意見交換を行ったりすることを通して、自分との関わりを考察する。 	(1) 定期考査 (2) 定期考査	(1) 定期考査 (2) 定期考査	ワークシート 振り返りシート

7 指導に当たって

- (1) 本時のテーマを冒頭に確認して、学習の見通しをもたせ、授業への集中を促す。
- (2) 年間を通して取り組んでいる各種資料を読解する活動を生かし、豊富な資料を読み、本単元の内容理解や深い考察を行えるよう促す。
- (3) 各種資料の読み取りを行う際、その内容をペアワーク等で共有する機会を設定することで、生徒が意欲的に読解に取り組めるようにする。
- (4) 生徒にとって身近な事例を用いた指導を行うことで、学習意欲の喚起を図る。
- (5) 発問に際して、自由に発言できる雰囲気醸成し、主体的に授業参加する態度を育成する。
- (6) グループワークを行うことで、生徒が自分の意見を表現する機会を設ける。

8 本時（全2時間中の第1時）

(1) 本時の目標

- ・労働者に保障されている権利を理解する。
- ・労働者の権利の行使について自分の考えをもつことができる。

(2) 本時の展開

時間	○学習内容・学習活動	指導上の留意点	評価内容と方法
導入① 7分	・新聞記事発表	<ul style="list-style-type: none"> ・発表者は授業開始前に黒板に記事タイトル、新聞社名、氏名を書いておくよう事前指導をしておく。 ・発表者以外は、タブレットを机の上に置き、感想記入用 Excel ファイルを開いておくよう指導をする。 	ウ 感想用紙 Excel ファイル（本単元とは別に学期を通して評価する）。
導入② 5分	<ul style="list-style-type: none"> ○本時のテーマと授業の流れを確認する。 ○各都道府県の最低賃金を確認し、労働条件や労働者の権利が法律等で定められていることを理解する。 ・東京都の最低賃金を確認する。 ・各道府県の最低賃金の違いを提示したスライドから確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・最低賃金が低い道府県が悪いということではないと補足する。 	
展開 35分	<ul style="list-style-type: none"> ○労働基本権と労働三法の内容を理解する。 ・ワークシートの労働基本権と労働三法について述べられた文中の空欄に当てはまる語句を教科書から書き出す。 ○労働基準法の立法目的（立法趣旨）を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が該当箇所を見つけやすいように、ページ数とともに、状況をみて段落も伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ア 定期考査 イ 定期考査

	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの労働基準法について述べられた文中の空欄に当てはまる語句を教科書から書き出す。 <p>○労働基準法が制定された背景を考察する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発問を受けて、労働基準法が制定された年代や当時の状況を調べたり、近くの生徒と話し合ったりして、自分なりの考えをもつ。 <p>○労働組合法とストライキについて、内容を理解するとともに、ストライキが社会でどう受け止められているか、各種資料の読み取りを通して考察することで、労働者の権利の保護に関する諸課題について自分なりの考えをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料①の路線バスのストライキ記事を読み、記事の感想を記入し、記入した内容をペアで共有する。 ・ワークシートの2のQ2に対する自分の意見を記入し、ペアで共有する。 ・提示される映像資料と資料②のプロ野球ストライキに関するニュース記事をワークシートの2のQ3に対する自分の意見を記入し、ペアで共有する。 ・Q4に対する自分の意見を記入し、ペアで共有する。教員から指名された生徒は、全体に向けて発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が該当箇所を見つけやすいように、ページ数とともに、状況をみて段落も伝える。 ・発問後、生徒の学習が進んでいない場合、年代をある程度絞ったり、自分が経営者ならば？と視点を変えさせたりして考察を促す。 ・ペアで共有するタイミングを明確に伝え、スムーズに学習が進むよう促す。 ・具体的な企業が思い浮かばない生徒が多い場合、身近な企業をいくつか例示する。 ・日本プロ野球のしくみ等をわかりやすく伝え、プロ野球がわからない生徒も公平に取り組めるようにする。 ・あくまで自分の意見を自由に書いてよいことを明確に伝える。 	
--	---	---	--

	<p>○労働者の諸権利の保護や諸問題を考察する。</p> <p>・資料③を読み、近年のストライキの実施状況について触れられている記事を読み、労働者の権利が保護されているか、またその諸課題を考察し、自分の意見を記入する。記入した内容はペアワークで共有する。また指名された生徒は全体に共有する。</p>	<p>・記事が長いため、読み取ることが難しい様子の生徒が多くいた場合、記事中のグラフのデータやデータに言及している部分を伝え、考察を促す。</p>	
<p>まとめ 3分</p>	<p>○本時のまとめ</p> <p>・本時の授業の感想を考える。指名された生徒は全体で共有する。</p>	<p>・生徒の共有内容をわかりやすく伝える。</p>	

(3) 板書計画

スライド
(別紙)

(4) 授業観察の視点

- ・本時の授業内容は、本時及び単元の目標の達成に適切なものとなっているか。
- ・生徒の学習内容及び学習活動が本時の目標を達成するうえで適切なものとなっているか。
- ・教員の説明や用いた事例等は生徒にとってわかりやすいものであったか。
- ・提示した各種資料は読解力の向上に寄与するような文章であったか。また生徒が読みやすいものであったか。